

第5次城北地区地域福祉活動計画表（2019年度から2023年度）スローガン: 共生のまちづくりをめざそう！

大項目: 健康と福祉のまちづくり						
中項目: 町内会自治会の福祉活動との連携・協力						
区分	活動名	みんなの声(実態調査から)	目標	具体的な取組内容	実施・協力者(団体)	財源
充実	町内会自治会の行う防災組織や要配慮者支援事業との連携・協力と設置個所数の増加	町内会や自治会で行っている自主防災組織、見守り活動、交流の場づくりを進めてほしい	高齢者の孤立化を 방지、見守りや声掛け確認を行い、なごやか寄り合いや要配慮者支援事業などの活動をすすめる	4町内会自治会では月に1回から4回、集会所で実施。11町内会自治会では防災組織を整備し、見守り声掛け確認を行っている。今後は町内会自治会にPRし、意見交換会などの機会を持ちたい。	町内会自治会の防災組織隊員、民生児童委員、福祉推進員、ボランティア	町内会自治会予算、松江市補助金、市社協補助金、地区町内会連合会補助金
充実	町内会自治会の行う住民主体型サービスへの連携・協力と設置個所数の増加	介護予防を目的とした通所介護サービス(総合事業通所B)を町内会自治会で行ってほしい	健康維持と介護予防を目的とした総合事業通所Bを町内会自治会に設置する	現在、取り入れている自治会は1か所であり、連携協力体制を維持するとともに、設置個所数を増やしていく。今後は町内会自治会にPRし、意見交換会などの機会を持ちたい。	町内会自治会、民生児童委員、福祉推進員、ボランティア	町内会自治会予算、松江市補助金
新規	町内会自治会活動の拠点づくりへの支援	集会所がないために、要配慮者支援事業や通所Bなど活動に制限を受けている アンケート(町内には集会所がないのですが、空き家でも借りて、体力づくりに体操なり唄でも歌ったり近所でなければ利用できません。作ってください。足腰が大丈夫なら、長らく一人暮らしできます。)	活動拠点としての集会所を整備する町内会自治会への支援や協力	拠点づくりを希望する町内会自治会との連携や協力を行う	希望する町内会自治会	松江市補助金 松江市社協補助金
中項目: 共生のまちづくり事業(すこやかライフ推進事業を含む)						
継続	お楽しみサロン	長年続く活動であり、続けてほしい。参加者の固定化と減少が課題である。活性化を図ってほしい。	高齢者の交流の場	毎月1回実施、場所は城北公民館。要配慮者支援事業や通所B事業との連携や協力を検討してはどうか？	地区内の高齢者 ボランティア 公民館	地区社協
継続	城北あったかスクラム	障がいのある子どもとその親、地域住民の交流の場として長年続いている。継続してほしい。	障がいのある子どもとその親、地域住民の交流の場	毎月一回実施、場所は城北公民館	地区内の障がいのある子どもとその親、地域住民、公民館、ボランティア	地区社協
充実	健康まつえ21推進隊(城北)	地区住民の健康維持と介護予防のための活動をこれまで通り続けてほしい アンケート(今後利用したい交流の場として、介護予防や健康教室は157人15%が希望している)	健康維持と介護予防の講座や地区住民へのヘルスプランの開催を目標としており、同じ目標を持つ公民館健康づくり部会との連携協力を検討してはどうか？	健康づくり講座、お出かけ健康教室、健康予防講座、ヘルスプランなどの実施	健康まつえ21推進隊員、民生委員、福祉推進員、ボランティア	松江市補助金 松江市社協補助金 地区社協
充実	なごやか寄り合い	アンケート(今後利用したい交流の場として、なごやか寄り合いを269人25%が希望している)	高齢者の孤立化防止と生きがいづくりの場	現在4町内会自治会で開催されている。開催個所数を増やしていきたい。限られた予算の中でどのように資金を捻出するのか課題となっている。	町内会自治会、民生児童委員、福祉推進員、ボランティア	地区社協
充実	へるぶ城北	地区住民の生活の困りごとに対し、有償ボランティア団体と協働して、ボランティアを派遣している。アンケート(利用している39人、利用したい104人合計123人15%が利用意向を示している)	生活の困りごと(買い物、掃除、ゴミ出し、外出支援、小修繕、草取りなど)に対応する有償ボランティアヘルパーの紹介を行う	利用意向に対し、利用実績がまだ少なく、今後どのようにして利用を増やすかが課題。また、コーディネーターによる仲介など業務を支える人材の確保、ボランティアの養成が課題。独自運営ができるように、生活支援訪問サービス、あんしん見守りパッケージ、訪問サービスBなどの導入を検討したい。	町内会自治会、生活支援ボランティア、へるぶ城北コーディネーター、おたがいさままつえ、市高齢者人材センター、地区社協、公民館	町内会自治会予算、地区町内会連合会補助金、地区社協、島根県寄付者設定テーマ事業助成金(単年度)、松江市補助金
充実	オレンジハウスの運営	城北地区の福祉拠点としてオレンジハウスを開設した。ともに支える城北の会が運営し、へるぶ城北、オレンジキッチン、ブックカフェおれんじをはじめとして、地区の福祉活動の場として利用されている	地区の福祉活動の拠点として、利用者数や利用回数を増やすよう努める	オレンジキッチン、ブックカフェおれんじ、それぞれ月一回。地区の福祉団体の利用を増やすことが課題(家賃支払いのための財源確保も課題となっている。)	ともに支える城北の会	地区社協
充実	オレンジキッチンの開催	アンケート(食事は誰と食べますか？一人と答えた人235人22%、孤食が進行している)アンケート(外出頻度月1-2回52人、外出しない46人合計98人9%となり孤立化が進んでいる)アンケート(家族構成一人世帯199人19%、夫婦世帯448人42%と老人のみの世帯が増加している)	高齢者の孤食防止、健康維持、生きがいづくり、交流の場	月一回開催、17:00-19:00に夕食を一緒に作り食べている。利用者の固定化が進んでいる。ボランティアの拡大(公民館職員や社会福祉法人職員の献身的努力)	ともに支える城北の会、ボランティア、松江市社協、中央地域包括センター、公民館	地区社協

新規	子どもの居場所づくり	子ども食堂、子どもの遊び場、子どもの学習支援の場が身近な場所に欲しい 子ども相談室もあればいい	子どもが主体となった子どもの居場所を地域につくる 中学生や高校生を主体とした子どもの居場所づくりを行う	じょうほく寺小屋の開催を検討する 子ども食堂の検討を行う 中学生高校生を主体とした居場所を検討する	じょうほく寺小屋の会や城北子ども居場所づくり委員会を組織化する	松江市補助金(教育委員会) 市社協補助金 子どものゆめ基金助成金 子どもの未来応援基金
----	------------	---	--	---	---------------------------------	--

大項目:組織づくり
中項目:健康と福祉ニーズ調査

区分	活動名	みんなの声(実態調査から)	目標	具体的な取組内容	実施・協力者(団体)	財源
継続	高齢者への健康と福祉ニーズ調査	これまで5年に一度実施してきた。これからも続けてほしい。	次期地域福祉活動計画策定のためにニーズ調査を行う。	5年ごとに行う	地区社協 地区町内会連合会	地区社協、松江市社協、民間 団体助成金等
新規	子どもや若者へのまちづくりアンケート	未来の城北地区の姿を描き、まちづくりを行っていくために子供や若者の意見を聞くアンケートを実施したい	未来の城北地区の姿を描き、街づくりを行っていくため 特に小学生中学生高校生を主体とした子どもの居場所づくりに資する	アンケート内容を策定し実施するために、検討会を組織する	地区社協 地区町内会連合会	地区社協、松江市社協、民間 団体助成金等

中項目:地域福祉諸団体の育成

継続	地域福祉諸団体の育成	補助金の交付を続けてほしい	継続して補助金を交付する	・城北寿会連合会・城北母子会・城北地区子ども会育成協議会・石橋3区遊園地・ジュニアクラブへの助成の継続 ・城北地区民生児童委員協議会・更生保護女性会議城北支部・城北地区パトロールママの会・城北地区保護司会への助成の継続 ・ともに支える城北の会へ助成の継続	地区社協	地区社協
----	------------	---------------	--------------	---	------	------

中項目:城北地区第2層協議体の充実

充実	ともに支える城北の会の充実	城北地区第2層協議体としてのともに支える城北の会の組織充実を図ってほしい	城北地区第2層協議体としてのともに支える城北の会の組織充実を図る	構成団体の追加や見直しを行い、協議体としての機能を明確にしていく	ともに支える城北の会	地区社協
----	---------------	--------------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	------------	------

大項目:人づくり

中項目:地域住民に対する理解啓発活動

区分	活動名	みんなの声(実態調査から)	目標	具体的な取組内容	実施・協力者(団体)	財源
継続	広報誌の発行	地区社協だよりによる広報を続けてほしい	継続して発行する	年2回の発行を行う	地区社協	地区社協
継続	健康診査・がん検診の広報	検診広報活動を続けてほしい	広報車による広報活動を行う	検診前に実施する	健康まつえ21推進隊員	

中項目:福祉推進員研修会や福祉ボランティアの育成

継続	ヘルスプランの実施	ぜひ続けてほしい	健康と福祉について学び、交流の場とする	城北地区内の7班において毎年1回実施している	地区社協、民生児童委員、主任児童委員、福祉推進員、地区住民、ボランティア	地区社協
継続	ボランティアの育成	子育て支援のための母子保健推進員や託児・読み聞かせボランティアを育成してほしい 福祉推進員研修会を充実してほしい	健康・福祉ボランティアを育成する 子育て支援ボランティアを育成する 福祉推進員のレベルアップを図る	子育て支援のための母子保健推進員や託児・読み聞かせボランティア、登下校時の見守り・青色パトロールボランティアなどを育成する 福祉推進員研修会を充実する	地区社協 公民館、地域安全推進員会	地区社協 公民館 松江市、松江署生活安全課

大項目:第5次城北地区地域福祉活動計画の進行管理

区分	活動名	みんなの声(実態調査から)	目標	具体的な取組内容	実施・協力者(団体)	財源
新規	進行管理組織を立ち上げる	第4次計画の進行管理組織は不十分	各年度ごとに事業の振り返りを行い、次年度へ反映させる	各事業の進行状況を把握し次年度に反映させる	各事業の実施者 地区社協	